





斎王代の御輿は葵祭の庄巻  
下社(下鴨神社)、上社(上賀茂神社)を合わせて賀茂神社といふ。その祭が葵祭である。

五月十五日、葵祭の行列は、京都御所に参集、下鴨神社に向かって「社頭の儀」を行い、午後、賀茂川の西堤を上賀茂神社に向かう。

古来より、祭といえば葵祭を指すほど歴史は古い。今昔物語にはその日を待つ人々の心の浮き立つ様子が写し出されている。また源氏物語では光源氏をめぐる葵と云ふ御所の「車争い」による菖蒲が描かれるなど、王朝文学にその年の深さを刻む祭である。

いにしへの絵巻のなか、約一キロにわたる行列が古都の道を歩む。華やかな女人たち、あどけない童女の姿が人

物語にはその日を待つ人々の心の浮き立つ様子が写し出されている。また源氏物語では光源氏をめぐる葵と云ふ御所の「車争い」による菖蒲が描かれるなど、王朝文学にその年の深さを刻む祭である。

いにしへの絵巻のなか、約一キロにわたる行列が古都の道を歩む。華やかな女人たち、あどけない童女の姿が人

## 葵祭・上賀茂神社

(35)

支える祭りである。

……じつじと馬の足搔き

と云う行事である。

九月九日、重陽の節句の「鳥相撲」も名高い。細殿の前に五百余人、そのいずれにも葵・桂の葉が飾られる。葵祭の名で親しまれる所以である。

葵は雲ヶ畑や貴船牛は丹波

町の協力を得るなど、脇役が

手で人形が橋の小川に流さ

れる。無病息災で夏を越そう

と云う行事である。

九月九日、重陽の節句の「鳥

相撲」も名高い。細殿の前に五百余人、そのいずれにも葵・桂の葉が飾られる。葵祭の名で親しまれる所以である。

葵は雲ヶ畑や貴船牛は丹波

町の協力を得るなど、脇役が

手で人形が橋の小川に流さ

れる。無病息災で夏を越そう

と云う行事である。